

## 臨床心理士について

- 臨床心理士とは、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の“こころ”の問題にアプローチする“心の専門家”である。公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会（昭和63年設立。以下、「認定協会」という。）が資格認定を行っている。
- 試験は、筆記（マークシート及び論文）による一次試験と面接による二次試験により実施される。受験資格は以下のとおり。また、5年ごとの資格更新制度が定められている。
- ① 指定大学院（1種・2種）を修了し、所定の条件を充足している者
    - ※ 一定の要件（教員組織、カリキュラム、臨床心理実習施設など）を備えている大学院を認定協会が指定大学院として指定している。1種大学院を修了すれば受験資格を得られるが、2種大学院の修了者は大学院修了後1年の実務経験が必要。平成28年7月1日時点で、165校（1種155校、2種10校）が指定を受けている。
  - ② 臨床心理士養成に関する専門職大学院を修了した者
    - ※ 専門職大学院は、高度専門職業人の養成に目的を特化した課程で、文部科学省が認可する。臨床心理分野は、6校が認可されている（平成28年7月1日時点）。
  - ③ 諸外国で指定大学院と同等以上の教育歴があり、修了後の日本国内における心理臨床経験2年以上を有する者
  - ④ 医師免許取得者で、取得後、心理臨床経験2年以上を有する者 等
- 過去5年の受験者数等について ※括弧内は医師免許取得者数  
毎年1,600～1,700人程度が新たに合格している。

年度	受験者数	合格者数	合格率(%)	累計合格者数
平成23年	2,740	1,661 (9)	60.6	24,666 (502)
平成24年	2,812	1,663 (10)	59.1	26,329 (512)
平成25年	2,804	1,751 (24)	62.4	28,080 (536)
平成26年	2,664	1,610 (12)	60.4	29,690 (548)
平成27年	2,590	1,601 (25)	61.8	31,291 (573)

※ 本資料は、認定協会のウェブサイト等を参考に概要を整理したものである。